

# News Release

2021年12月1日

## 報道資料

### パイオニア製サウンドシステムがLEXUSのSUV新型「LX」に標準装着

パイオニアのサウンドシステムが、次世代LEXUSの第二弾となるフラグシップSUV新型「LX」（2021年12月以降発売予定）に標準装着される「レクサスプレミアムサウンドシステム」として採用されました。第一弾「NX」への採用に続き、当社が長年培ってきた高音質技術と最新のデジタル信号処理技術を詰め込み、次世代LEXUSにふさわしいLuxuryなサウンド空間とPowerfulな低域再生を実現します。



本システムは、インパネやドアなどに配置される10個のスピーカーと、当社が長年培ってきた高音質技術に加えて最新のデジタル信号処理技術を搭載した8チャンネルフルデジタルアンプで構成。フラグシップSUVに相応しい力強さと洗練さを兼ね備えたサウンドシステムです。

専用開発のボックスサブウーファーをデッキサイドに、新型18cmウーファーをフロントドアに配置し、進化した歪みの少ない迫力のある低音を再生します。

また、ハイレゾ音源に対応した新型CST※をインパネサイドに配置し、取付位置や角度にまでこだわった緻密な搭載設計によって、立体的かつ上質な音場を創出します。

新開発の8チャンネルフルデジタルClass-Dアンプは、小型軽量化や省電力化とともに、高性能アンプICを採用するなど回路の高音質化を図り、ハイレゾ音源の再生にも対応。圧縮音源もハイレゾアップコンバート機能により限りなくハイレゾ音源に近づけます。当社独自の最新音響解析技術を用いた音響チューニングを施すことで、広がりのあるステージ感とクリアな中高音や重厚でキレのある低音再生を実現します。

※ Coherent Source Transducer の略  
1つの筐体に2つのスピーカー(ミッドレンジ+ツイーター)を内蔵するユニット

#### 【レクサスプレミアムサウンドシステム】

8チャンネルフルデジタルClass-Dアンプと10個のスピーカーで構成されたサウンドシステム。

#### <スピーカー配置>

・インパネサイド	9cm CST ×2	・リアドア	16cm Full range ×2
・インパネセンター	9cm Midrange ×1	・デッキサイド	16cm 9L Sub-Woofer ×1
・フロントドア	18cm Woofer ×2		

➤ 新型LX 車種紹介サイトはこちら : <https://lexus.jp/models/lx/>

車両画像・写真は本リリース用に当社がLEXUSより利用許諾を得たものです。転載、転用を一切禁じます。